

平成20年度

埼玉県後期高齢者医療広域連合
主要施策の成果報告書

目 次

1	平成20年度一般会計決算状況	1
2	一般会計主要施策の成果	3
3	平成20年度特別会計決算状況	4
4	特別会計主要施策の成果	6
	〈参考資料〉	10
	被保険者の加入状況	
	医療給付費の支給状況	
	高額療養費の支給状況	
	葬祭費の支給状況	
	保健事業の実施状況	
	後期高齢者医療費等に係る決算状況	

平成20年度一般会計決算状況

【平成20年度一般会計決算状況】

総括

平成20年度予算は、埼玉県後期高齢者医療広域連合の運営、管理に必要な各経費を主に計上しており、一般会計歳入歳出予算額は最終的に5億3,153万円となりました。

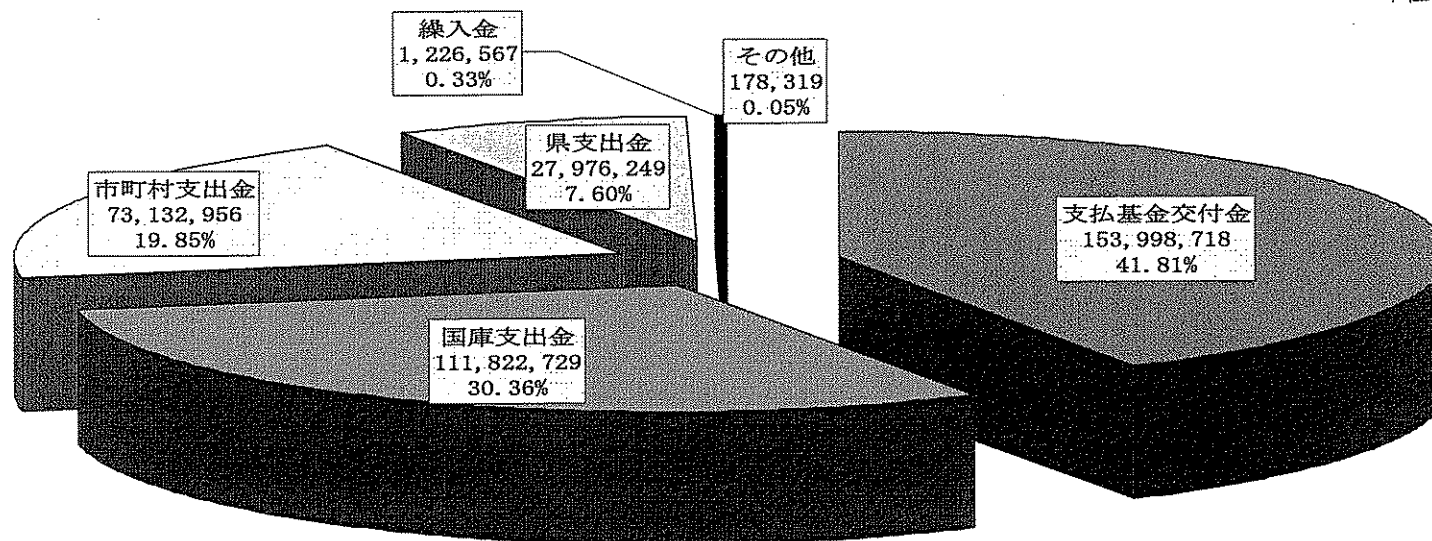
また、一般会計歳入歳出決算額は歳入が5億3,203万6千円であったのに対し、歳出は4億8,048万9千円であり、歳入歳出差引額は5,154万7千円となっております。平成20年度は、翌年度に繰り越すべき繰越明許費や継続費の設定に伴う通時繰越費等はありませんので、実質収支額も同額であります。

歳入

構成市町村からの共通経費負担金が3億5,048万4千円で、歳入全体の65.88%、前年度繰越金が1億5,996万2千円で同30.07%、老人医療費が著しく低い市町村に設定された保険料に対する減額補てん分を国と県が負担する保険料不均一賦課負担金が2,070万7千円で同3.89%、その他の収入額が86万4千円で同0.16%となっております。

歳入状況一覧

単位：千円



※ その他の内訳	
医療費適正化推進費補助金	181千円
歳計現金預金利子	680千円
歳計外現金預金利子	2千円
複写機使用料実費徴収金	1千円

歳出

目的別では、総務費が2億9,881万5千円で歳出全体の62.19%、民生費が1億8,068万7千円で同37.61%、議会費が98万6千円で同0.20%となっております。

性質別では、補助費等が2億5,443万2千円で歳出全体の52.95%、繰出金が1億8,068万7千円で同37.61%、物件費が4,506万9千円で同9.38%、人件費が30万円で同0.06%となっております。

歳出の目的別内容

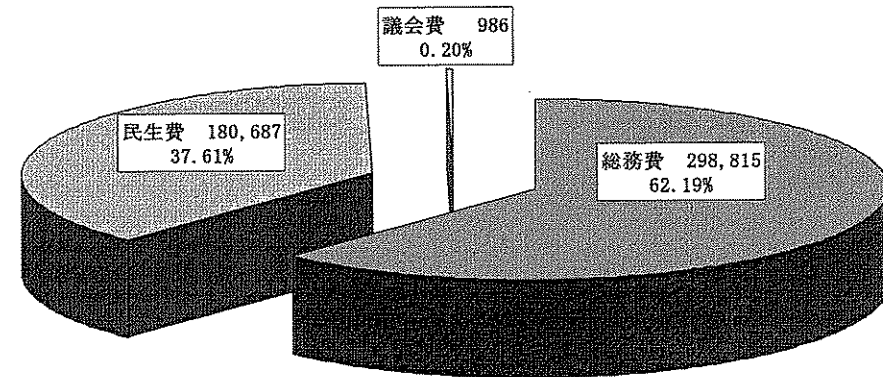
議会費 7月、10月、2月と計3回の議会を開催し、広域連合の条例、予算案等を審議しました。

総務費 広域連合の運営や事務処理を円滑に執行しました。

民生費 後期高齢者医療制度事業に係る事業費を特別会計に繰出し、該当事業を執行しました。

目的別決算一覧

単位：千円



歳出の性質別内容

人件費 議員報酬や各種審議会等の委員報酬。

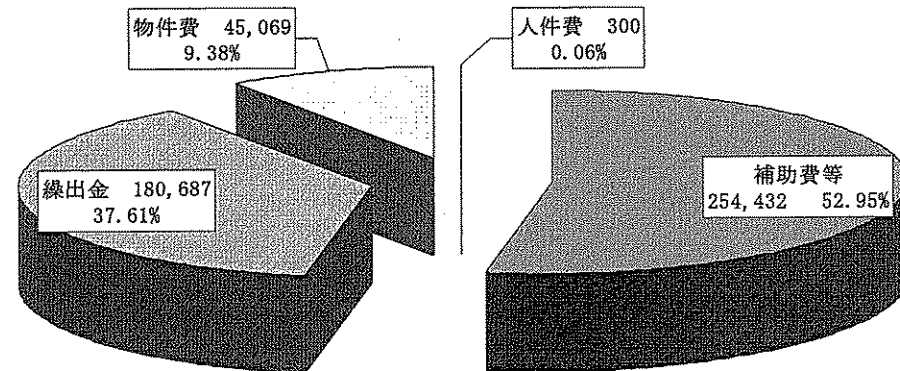
物件費 各種の委託契約に係る経費や物品の購入費用等。

補助費等 職員の派遣元自治体に支出している負担金や各種団体への負担金。

繰出金 一般会計から特別会計への繰出金。

性質別決算一覧

単位：千円



【一般会計】

主要施策の成果

【一般会計】主要施策の成果

議会費

(単位：千円)

課名・事業名	執行額		金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
総務課				
広域連合議会 予算現額：615千円	01 報酬	議員報酬	265	定例会2回、臨時会1回を開催し、14議案と請願7件の審議、審査を行った。
	09 旅費	費用弁償	22	
	14 使用料及び賃借料	議会会場使用料	131	
		計	418	
広域連合議会会議録作製委託事業 予算現額：735千円	13 委託料	会議録作成委託料	513	広域連合議会に係る会議録の調製製本を行った。

総務費

課名・事業名	執行額		金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
総務課				
後期高齢者医療懇話会開催事業 予算額：567千円	08 報償費	高齢者医療懇話会報償金	213	懇話会を3回開催し、後期高齢者医療制度や広域連合の円滑かつ適正な運営に向けて、広く関係者の意見を聞いた。
	12 役務費	高齢者医療懇話会保険料	3	
	13 委託料	会議録作成委託料	112	
		計	328	
広域連合ホームページ作成委託事業 予算現額：386千円	13 委託料	HP作成委託料	386	トップ頁を高齢者にも検索しやすいレイアウトに変更するとともに、制度内容に合わせてホームページを更新した。
事務局職員給与等負担金 予算現額：284,057千円	19 負担金補助及び交付金	事務局職員給与等負担金	253,787	事務局職員33名の給与相当分に係る負担金を支払った。

平成20年度特別会計決算状況

【平成20年度特別会計決算状況】

総括

平成20年度予算は、医療給付費等に係る予算を中心に計上しており、特別会計歳入歳出予算額は最終的に3,675億6,019万3千円となりました。

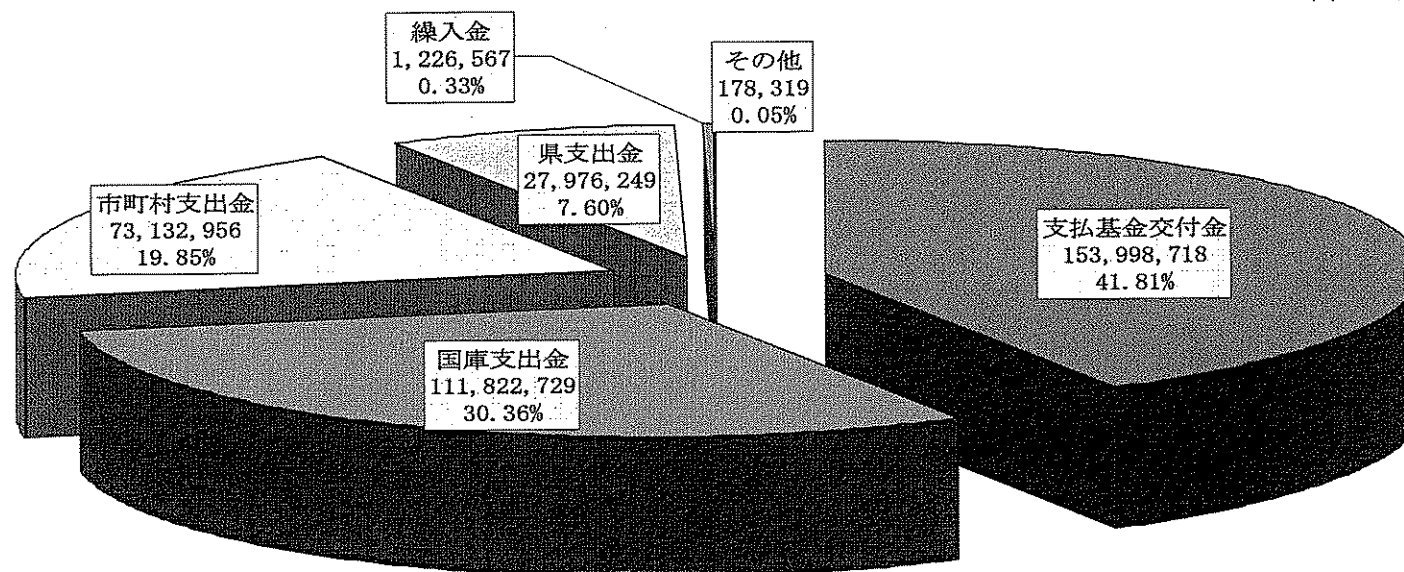
また、特別会計歳入歳出決算額は歳入が3,683億3,553万8千円であったのに対し、歳出は3,570億9,589万9千円であり、歳入歳出差引額は112億3,963万9千円となっております。平成20年度は、翌年度に繰り越すべき繰越明許費や継続費の設定に伴う遡時繰越費等はありませんので、実質収支額も同額となります。

歳入

支払基金交付金が1,539億9,871万8千円で、歳入全体の41.81%、国庫支出金が1,118億2,272万9千円で同30.36%、市町村支出金が731億3,295万6千円で同19.85%、県支出金が279億7,624万9千円で同7.60%、繰入金が12億2,656万7千円で同0.33%、その他が1億7,831万9千円で同0.05%となっております。

歳入状況一覧

単位：千円



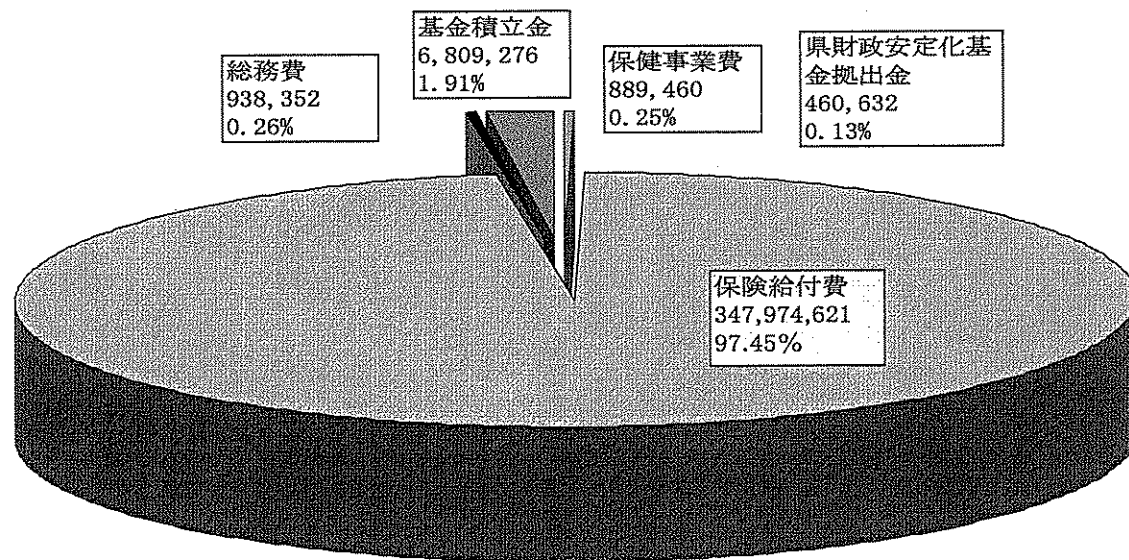
その他の内訳		
特別高額医療費共同事業交付金		25,760 千円
諸収入		149,541 千円
財産収入		3,018 千円

歳出

目的別では、保険給付費が3,479億7,462万1千円で歳出全体の97.45%を占めており、保健事業費が8億8,946万円で同0.25%、総務費が9億3,835万2千円で同0.26%、基金積立金が68億927万円で同1.91%、財政安定化基金拠出金が4億6,063万2千円で同0.13%となっております。

目的別決算一覧

単位：千円



【特別会計】

主要施策の成果

【特別会計】主要施策の成果

総務費

課名・事業名	執行		額 金額(千円)	事業の概要	
	節	細節			
総務課					
電算機器調達事業 予算現額：205,966千円	13	委託料	標準システム機器導入委託料	50,988	市町村及び広域連合に設置するサーバ機器類、端末機、プリンタ、通信機器類を業務委託で整備し、また、直接リース調達を行った。 さらに、サーバ機器に関し、国からの容量不足や機能充実の通知を受け増強を図るため機器の購入・窓口端末の増設を行った。(サーバ13台、窓口端末50台)
	14	使用料及び賃借料	広域連合システム機器等賃借料	28,111	
	18	備品購入費	標準システム機器導入費	108,303	
			計	187,402	
総務課					
電算機器運用・維持管理事業 予算現額：238,090千円	13	委託料	広域連合システム市町村機器保守委託料	17,654	標準システムのサーバ機器類の維持管理のため、業務委託した。 市町村に設置した端末機等の障害復旧、保守管理のため業務委託した。
			国保連合会業務委託料	220,083	
			計	237,737	
保険料課					
印刷製本事業 予算現額：20,667千円	11	需用費	印刷製本費	4,778	後期高齢者医療制度の広報・周知のため、制度概要パンフレット、障害認定者用リーフレット、保険料周知リーフレットを作成した。 保険料納付通知書送付時ミニガイド(75万部)、制度概要パンフレット(10万部)、障害認定申請用ミニガイド(3万部)
				計	
保険料課					
被保険者証作成等業務委託事業 予算現額：17,094千円	13	委託料	被保険者証作成等業務委託料	7,272	被保険者証の一部負担金の割合が変更となった被保険者に係る被保険者証を作成し、また発送にあたっての封入封緘について業務委託した。 被保険者証5万部、限度額適用・標準負担認定証4万部ほか
				計	
給付課					
損害賠償求償事務委託事業 予算現額：8,711千円	13	委託料	損害賠償求償事務委託料	1,281	交通事故等による療養等、第三者行為に係る損害賠償求償事務について業務委託した。 件数割(334件×@1,600) 求償割額(29,855,120円×2.5%)
				計	

総務費

課名・事業名	執行		額 金額(千円)	事業の概要
	節	細節		
給付課				
レセプト点検委託事業 予算現額：71,745千円	13 委託料	レセプト点検委託料	2,520	標準システムレセプト情報等の提供に係るプログラムを作成するため、業務委託した。(レセプト点検は国保連合会におけるプログラムの不具合等により実施不可)
		計	2,520	
給付課				
レセプト保管等委託事業 予算現額：3,085千円	13 委託料	レセプト保管等委託料	2,860	紙レセプトに係る保管、集配及び廃棄処分を行なうため業務委託した。
		計	2,860	
給付課				
後期高齢者医療に関する事務の 代行業務委託事業 予算現額：198,417千円	13 委託料	標準システム事務代行委託料	198,262	標準システムの適用業務、運用処理業務及び診療報酬明細書(調剤報酬明細書)の被保険者資格確認作業等について業務委託した。
		計	198,262	
給付課				
医療費通知作成業務委託事業 予算現額：45,851千円	13 委託料	医療費通知作成業務委託料	19,947	医療機関等受診状況の通知作成について業務委託した。 (467,352通 1回実施)
		計	19,947	
給付課				
後期高齢者医療支給決定通知作 成業務委託事業 予算現額：20,000千円	13 委託料	支給決定通知作成業務委託料	14,064	標準システムから必要データを抽出し、葬祭費、療養費及び高額療養費に係る支給決定通知書の作成について業務委託した。 (葬祭費 24,659通 療養費 8,835通 高額療養費 385,067通)
		計	14,064	

保険給付費

課名・事業名	執行額			事業の概要
	節	細節	金額(千円)	
給付課				
審査支払事務委託事業 予算現額：1,330,198千円	13 委託料	審査支払委託料	1,309,039	保険医療機関等から請求のあった診療報酬明細書（レセプト）に係る請求内容の審査及び診療報酬等支払を行うため、事務委託した。 (審査支払手数料 13,235,668件×@98.17円 レセプトオンライン請求システム手数料 12,925,121×@0.75円)
		計	1,309,039	
給付課				
療養の給付等の支払事務 予算現額：350,888,478千円	19 負担金、補助及び交付金	療養給付費等	341,962,151	保険医療機関及び受領委任の協定が結ばれた施術所に対して診療報酬・施術費等を支払った。
		計	341,962,151	
給付課				
訪問看護療養費の支払事務 予算現額：692,561千円	19 負担金、補助及び交付金	訪問看護療養費	663,470	居宅で継続して療養をうける被保険者に、看護師等が居宅で行う療養上の世話または必要な診療の補助について、診療報酬を支払った。
		計	663,470	
給付課				
高額療養費支給事務 予算現額：3,513,358千円	19 負担金、補助及び交付金	高額療養費	2,801,960	1カ月に支払った一部負担金等の合計が自己負担限度額を超えたとき、申請により超えた金額を高額療養費として支払った。
		計	2,801,960	
給付課				
葬祭費支給事務 予算現額：1,354,950千円	19 負担金、補助及び交付金	葬祭費	1,235,000	被保険者が死亡した場合、申請により葬祭執行者に対して葬祭費を支給した。 (葬祭費24,700件×@50,000円)
		計	1,235,000	

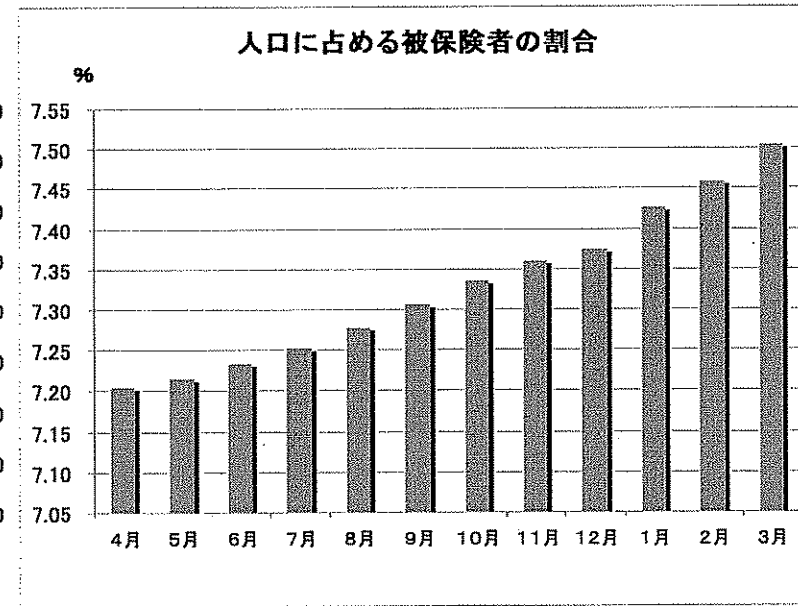
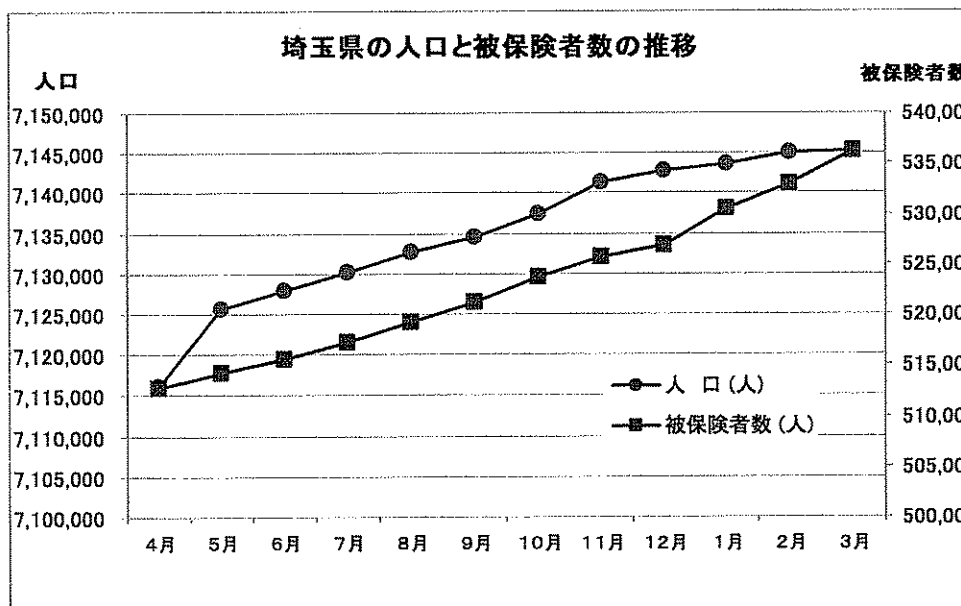
保険給付費

課名・事業名	執行額			事業の概要
	節	細節	金額(千円)	
給付課				被保険者の健康保持・増進のため、各市町村への事務委託により健康診査を実施した。(受診者数143,361人 受診率27%)
健康診査委託事業	19 負担金、補助及び交付金	健康診査委託料	817,565	
予算現額：1,180,000千円		計	817,565	

〈 参 考 资 料 〉

○被保険者の加入状況

	平成20年										平成21年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
人口(人)	7,116,183	7,125,532	7,127,895	7,130,083	7,132,614	7,134,583	7,137,434	7,141,325	7,142,803	7,143,675	7,145,003	7,145,323	
被保険者数(人)	512,683	514,146	515,554	517,154	519,096	521,225	523,568	525,645	526,809	530,460	532,921	536,186	
人口に占める被保険者の割合(%)	7.20	7.22	7.23	7.25	7.28	7.31	7.34	7.36	7.38	7.43	7.46	7.50	



○医療給付費の支給状況

- ・件数：13,235,623件（レセプト件数）
- ・一人当たりの医療費：769,123円（12ヶ月に換算）

○高額療養費の支給状況

- ・件数：385,006件
- ・総額：2,801,959,913円（現金分）
- ・1件当たり：約7,278円

○葬祭費の支給状況

- ・件数：24,700人
- ・金額：1,235,000,000円

○保健事業の実施状況

- ・健康診査受診数：143,361人
- ・受診率：27.0%

〈参考〉市町村における保険料収納状況

(単位:円)

特徴、普徴割合		割合*	調定額	収納額	収納率
	特 徴	48.0%	18,866,244,020	18,865,861,880	100.0%
	普 徴	52.0%	21,026,257,810	20,478,270,940	97.4%
	合 計	100.0%	39,892,501,830	39,344,132,820	98.6%

* 収納額より算出

後期高齢者医療事業状況報告書(事業年報)B表(1)より

○後期高齢者医療費等に係る決算状況

特別会計決算の中で、後期高齢者医療制度の事務執行に係る経費を除いた療養の給付費等に要する費用や保険料を財源として執行した事業費等の決算状況（後期高齢者医療費等に係る決算状況）を別にとりまとめました。

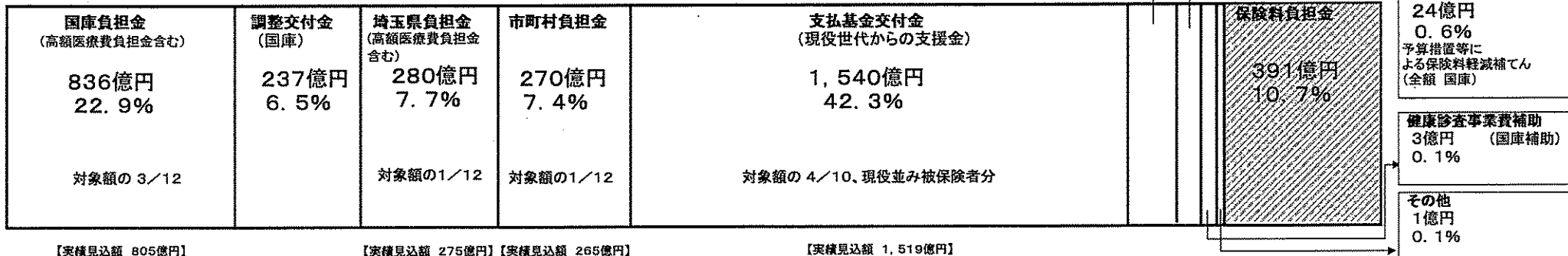
医療費等に係る歳入については、全体で3,643億7,474万3千円となっており、その内訳は支払基金交付金（現役世代からの支援金）が1,539億9,871万8千円で医療費に係る歳入全体の42.26%、国庫負担金（高額医療費負担金含む）が835億9,538万3千円で同22.94%、保険料負担金（市町村で徴収した保険料）が390億8,765万円で同10.73%、埼玉県からの療養給付費負担金（高額医療費負担金含む）が279億7,624万9千円で同7.68%、市町村からの療養給付費負担金が270億3,620万8千円で同7.42%、国庫補助金（調整交付金）が237億1,814万2千円で同6.51%、保険基盤安定負担金が61億8,562万円で同1.70%、保険料減額措置等に係る保険料補てん分の補助金、交付金が23億6,614万6千円で同0.65%、健康診査事業に係る補助金が2億8,439万3千円で同0.08%、その他が1億2,623万5千円で同0.03%となっております。

医療費等に係る歳出については、全体で3,534億8,552万4千円となっており、その内訳は療養給付費（訪問看護費、高額療養費など含む）が3,454億3,058万1千円で医療費に係る歳出全体の97.72%、基金積立金（保険給付費支払基金）が42億914万9千円で同1.19%、審査支払手数料が13億903万9千円で同0.37%、葬祭費が12億3,500万円で同0.35%、健康診査事業に要する費用が8億1,756万5千円で同0.23%、財政安定化基金拠出金が4億6,063万2千円で同0.13%、その他が2,355万8千円で同0.01%となっております。

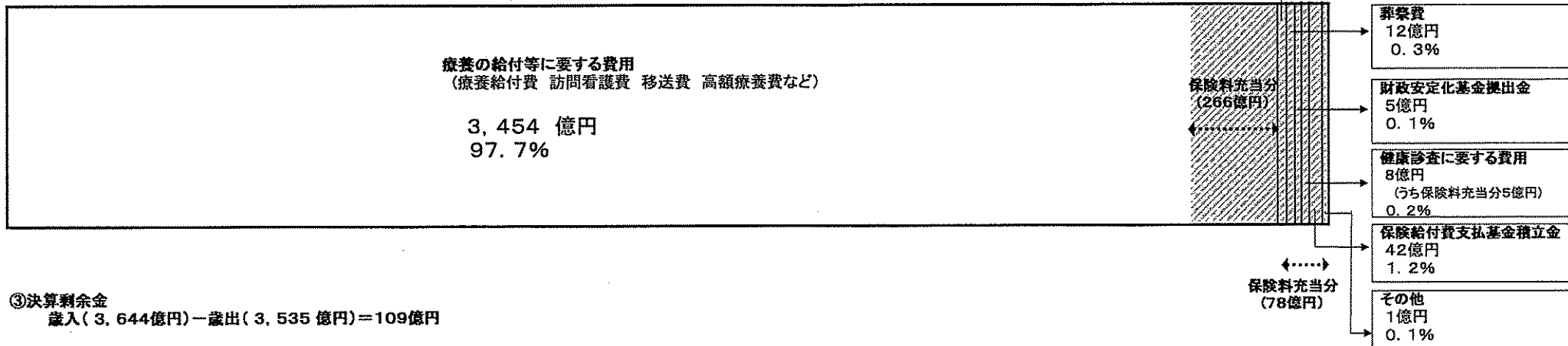
なお、これらについて図に表したものが次ページ「平成20年度 後期高齢者医療費等に係る歳入歳出決算概要」であります。

平成20年度 後期高齢者医療費等に係る歳入歳出決算概要

①歳入(後期高齢者医療費等に係る収入) (3,644億円)



②歳出(後期高齢者医療費等に係る支出) (3,535億円)



③決算剰余金

歳入(3,644億円) - 歳出(3,535億円) = 109億円

	決算額		実績見込額		返還予定額
国庫負担金精算	836億円	—	805億円	=	31億円
埼玉県負担金精算	280億円	—	275億円	=	5億円
市町村負担金精算	270億円	—	265億円	=	5億円
支払基金交付金精算	1,540億円	—	1,519億円	=	21億円
計					62億円

④保険料繰越分

決算剰余金(109億円) - 返還予定額(62億円) = 47億円